

# Collegium Musicum Shizuoka

## コレギウム・ムジクム静岡 第26回 演奏会

2016

7月16日(土)

開演14:00 / 開場13:30

静岡音楽館 **AOI**

〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9

プロコフィエフ 交響曲 第1番「古典」

シューマン 序曲、スケルツォとフィナーレ

ブラームス ヴァイオリンとチェロのための  
二重協奏曲



ヴァイオリン 長尾春花



チェロ 辻本 玲

指揮：高橋俊之

管弦楽：コレギウム・ムジクム静岡

■主催：コレギウム・ムジクム静岡

■協賛：アイワ不動産

■(公財)静岡市文化振興財団助成事業

■後援：静岡市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送

■お問い合わせ：コレギウム・ムジクム静岡 電話：054-347-0164 (藤井)

ホームページ <http://www.portwave.gr.jp/collegium-musicum>



## プログラム



### セルゲイ・プロコフィエフ 交響曲第1番「古典」ニ長調

第1楽章 Allegro

～\*～ 休憩 約20分 ～\*～

第2楽章 Larghetto

第3楽章 Gavotta (Non troppo allegro)

第4楽章 Finale (Molto vivace)

(演奏時間 約15分)

ヨハネス・ブラームス

### ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲

ヴァイオリン：長尾春花 チェロ：辻本玲

第1楽章 Allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Vivace non troppo

(演奏時間 約35分)

### ロベルト・シューマン 序曲、スケルツォとフィナーレ

第1楽章「序曲」

第2楽章「スケルツォ」

第3楽章「終曲」

(演奏時間 約22分)

## コレgium・ムジクム静岡の紹介

コレgium・ムジクム静岡は、静岡市内で活動する合唱団との共演を機に結成、1995年に管弦楽団として独立した活動を始めました。

オーケストラ独自のコンサートは今回で26回目、合唱団との共演など通算では90回目のコンサートとなりました。この間ヘンデル作曲の「メサイア」全曲を12回演奏、ザルツブルクでの2度の海外公演も果たしました。

モーツァルト生誕の町ザルツブルクの日曜の朝、フランチスカーナ教会に於いて、教会付き合唱団と一緒にミサ形式でモーツァルトのミサ曲を演奏。夜にはザルツブルク音楽祭が開催され町が最も華やぐ時、モーツァルトや邦人作品でコンサートを開催することができ、アマチュア演奏家として稀有な体験をすることができました。残響の長い教会での演奏体験は、小編成でホールの響きに寄り添って音楽づくりをする私たちの演奏スタイルを確立したと思います。

私達は室内管弦楽団という30人規模の編成で、これは1800年頃の管弦楽団の一般的なスタイルです。弦楽四重奏に管楽器が加わって少し大きくなった感じでしょうか。しかし、演奏する作曲家はバロックや古典時代ばかりではなく、ブラームスやマーラーそして本日のようにロシア近代のプロコフィエフまで取り組んでいます。

そしてたいいプログラムのメインには、プロフェッショナルのソリストをお迎えして協奏曲などを演奏することにしています。プロの方と共演をすることで、より深くそしてより高い音楽演奏を我々自身も体験し、聴衆の皆様にもお届けすることができるのではないかと考えております。

### コレgium・ムジクム静岡 最近の話題

テレビ朝日系列のバラエティ番組で、ゲストの学生時代の同級生の今を調査・紹介していく『あいつ今何してる?』が、6月22日に放送されました。そのゲストの一人がヴァイオリニストの高嶋ちさ子さん。そして“あいつ”がなんと本日コレgium・ムジクム静岡の指揮をして下さる高橋俊之先生でした。先生は「天才的にバイオリンがうまかった」同級男子として紹介され、学生時代は有名演奏家の癖をまねて演奏したり、ピアノの試験では絶対間違えることが無いという理由で自作曲で試験に臨んだというユニークな話題も。

高橋先生の弦楽器への指導はかなりハイレベル！ 長尾春花さんも高橋先生の指揮での協奏曲はとても演奏しやすいそうで、天才的ヴァイオリニストぶりは指揮でもいかに発揮されているようです。



## 長尾春花 (ヴァイオリン)

静岡県掛川市出身、3歳からヴァイオリンを始める。

7歳でオーケストラと共演。2001年、江藤俊哉ヴァイオリンコンクールジュニアアーティスト部門最年少第1位の受賞を皮切りに、様々なコンクールで受賞を受ける。2007年、日本音楽コンクール第1位。2008年、ロン＝ティボー国際音楽コンクール第5位。2010年、仙台国際音楽コンクール第3位。2011年、東京藝術大学内にて安宅賞受賞。2012年、東京藝術大学内にてアカンサス賞受賞。2013年度、シャネルピグマリオンデイズ参加アーティスト。

また、国内外のオーケストラとの共演、ラジオ、テレビ等への出演も数多く、各地にて2002年よりジョイントコンサート、2004年よりリサイタルを行う。

これまでに、篠田真美子、江藤アンジェラ、故江藤俊哉、景山裕子、沼田園子、ジュラル・プーレ、ボリス・クシュニールの各氏に師事。現在、青木高志、岡山潔、玉井菜採、ペレーニ・エステル各氏に師事。

東京藝術大学音楽学部大学院修士課程を首席にて修了。同大学院博士課程在籍。2015年9月よりハンガリー、リスト音楽院に留学。

## 辻本 玲 (チェロ)

1982年生まれ。7歳よりチェロを始める。11歳まで米国フィラデルフィアで過ごし、東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業（アカンサス音楽賞受賞）。

2003年、第72回日本音楽コンクール第2位、併せて「聴衆賞」受賞。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。ロームミュージックファンデーションより奨学金を得て、シベリウスアカデミー（フィンランド）、ベルン芸術大学（スイス）に留学し卒業。

2009年12月、第2回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞（日本人最高位）、併せて「日本人作品最優秀演奏賞」を受賞。

2011年3月から京都コンサートホールを皮切りに札幌コンサートホール kitara、名古屋宗次ホール、兵庫県立芸術文化センター、東京サントリーホールでリサイタル・ツアーを実施。

毎年夏にはサイトウ・キネン・オーケストラやアルカス佐世保のレジデンス・カルテットの一員として活動するほか、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチェ」や「及川浩治トリオ Bee」「堀米ゆず子室内楽シリーズ」へも参加するなど実力派として注目を集め、2015年6月からは日本フィルハーモニー交響楽団「ソロ・チェロ奏者」に就任するなど、今後の活躍が期待されている。

メタ・ワッツ、オーランド・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。使用楽器は、NPO法人イエロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されている。 オフィシャルサイト <http://rei-tsujiimoto.com>



## 高橋 俊之 (指揮者)



1968年生まれ。1979年より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室、同高等学校を経て、1991年桐朋学園大学を卒業。同大学研究科、指揮教室を修了。指揮法を黒岩英臣氏をはじめ、飯守泰次郎、秋山和慶氏の各氏に師事。

1991年桐朋学園大学オーケストラの一員として、ニューヨーク・カーネギーホール、仏・エヴィアン音楽祭に出演。1992年スイス・ルガーノでマスター・プレイヤーズ、1993年ウィーン・マイスター、1995年イタリア・オルヴィエートでレスピーギ音楽院の各指揮コースに参加。2009年から、コレギウム・ムジクム静岡の指導にあたる。

## セルゲイ・プロコフィエフ

### 古典交響曲 (交響曲第1番) ニ長調 作品25

セルゲイ・プロコフィエフは、1891年ロシアに生まれ、アメリカ、欧州での活動を経て、1953年にソヴェトで亡くなった作曲家、ピアニスト、指揮者である。ピアノ曲、バレエ音楽、協奏曲、管弦楽曲などあらゆるジャンルにわたって作品が残っている。番号付きの交響曲は7曲あり、古典交響曲は1916～17年に作曲された。1918年に作曲者自身の指揮でこの曲の初演が行われ、その直後、革命から逃れるため、日本経由でアメリカに亡命した。

プロコフィエフはペテルブルク音楽院在学中に、<交響曲の父>ハイドンの作曲技法を研究したことがあり、「もし今ハイドンが生きていたとしたら、新しい風趣を受け入れながらも同時に自分の形式を維持していただろう」(田代薫訳)と考えて作曲したので「古典交響曲」と名付けた。

#### ■第1楽章

Allegro ニ長調 2分の2拍子 ソナタ形式

#### ■第2楽章

Larghetto イ長調 4分の3拍子 三部形式

#### ■第3楽章

Gavotta (Non troppo allegro) ニ長調 4分の4拍子

#### ■第4楽章

Molto vivace ニ長調 2分の2拍子 ソナタ形式

この曲の魅力は、古典的とは思えない和声や転調が相次ぐことである。例えば、第1楽章冒頭の19小節の間に、ニ長調(第1主題)→ロ短調→ハ長調(もう一度第1主題)→ニ長調(推移主題)と変幻自在。時間にして約25秒。天才というほかない音楽の展開である。

第2楽章においても巧みな和声技法がみられる。第1主題につけられる和声は、提示部の5小節目ではイ

長調、再現部の42小節目ではハ長調、その後の58小節目ではロ長調である。第1ヴァイオリンが奏する旋律自体は転調せず同じ音のまま、背景となる和声だけに変化していく。特に58小節目からの、コントラバスが半音進行で上昇していく音型は秀逸である。

もう1つだけ魅力をあげるとすれば、澁刺としたカデンツである。カデンツとは、曲やフレーズの終わり方における和声の定型のこと。複雑でモダンな和声や転調が連続しても、フレーズの行き先にはやがて簡潔明瞭な終止があるから、安心感や説得力のある音楽となる。しかも、その終止形の音の置き方が素晴らしい。高音楽器と低音楽器には主音(レファ#ラの和音のレ)を割り振り、属音や第三音(レファ#ラの和音のファ#とラ)を中音域のオーボエやホルンに担わせる。重すぎず軽すぎず、倍音の絶妙な均衡を意図した爽やかな終止。ハイドン、ベートーヴェン、ブラームスの同じニ長調の交響曲のスコアと比較しても(規模も時代も異なる曲だから当然ではあるが)、プロコフィエフのオーケストレーションの、簡潔さと洒脱さに感服させられる。

編成が小さく演奏時間は15分ほどの交響曲であるが、高い合奏技術が要求される。当団にとって、この曲の演奏は大きな挑戦であり、今日こうして皆様に聴いていただく機会を得て幸せである。(坂口 卓也)

## ロベルト・シューマン

### 序奏、スケルツォとフィナーレ

本日演奏する「序奏、スケルツォとフィナーレ」は1841年に初稿が完成。交響曲に昇華させようと1845年まで推敲を繰り返し、最終的には緩徐(ゆったり歌う)楽章のない、3つの楽章の管弦楽曲に落ち着きました。この曲はリズムミクな旋律・音型を基調とし自由な形式で書かれており、演奏会では「其々を単独で演奏しても構わない」との所見が加えられています。

シューマンにとって多くのピアノ作品が一段落した1841年は、交響曲1番や4番、ピアノ協奏曲の断片を書いた時期と重なり、管弦楽の新しい形、プロトタイプを模索したと推察できる楽曲ではないでしょうか。

#### ■第一楽章 アンダンテ・コンモート→アレグロ

昼メロのような深刻で暗いコール&レスポンスを繰り返す序奏を経て、ホ長調の明るい旋律が躍動します。



諸所に書き込まれたリタルダンド（テンポを緩める）と躍動を繰り返し曲は終わります。

## ■第二楽章 スケルツォ ヴィーヴォ、 「トリオ」 リステツ・テンポ

麦踏み民族日本人が最も苦手な「タッタタン（付点8分と16分音符）」の刻みを嬰ハ単調で延々と繰り返す、中間部へ。1楽章の主題が僅かに回想されるコーダを経て、最初の苦手リズムに戻る地獄の三部形式。

## ■第三楽章 アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ

明るいホ長調に戻り、テュッテイ（全奏）で主題をチラ見せ後、リズムに乗って主題全体が登場。自作のオラトリオ「楽園とペリ」に酷似のモチーフ（動機）を挿入した後、山と谷を繰り返して曲は終わります。最後にR・シューマンは、中音のハーモニーの要、ホルンを「オーケストラの心」と讃えました。コンチェルトストック（管弦楽とホルン四重協奏曲）はじめ、彼の管弦楽作品にはホルンが活躍する曲が多い……おっと、ハードルを上げてしまったか（笑）。

（山梨晴臣）

## ヨハネス・ブラームス

### ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 作品102

本日最後のプログラムは、ブラームスの最後の管弦楽曲であるこの二重協奏曲です。ヴァイオリンとチェロの二つを独奏楽器とした協奏曲はこの曲以外にはほぼ例がありません。ブラームスはバロック時代の合奏協奏曲のスタイルを意識したと同時に、親友のヴァイオリニスト・ヨアヒムとの不和を解消するためにこの曲を作曲したといわれています。

1887年、ブラームスは交響曲第5番の構想をこの二重協奏曲へ変えました。次の曲を協奏曲的にして、仲違いしているヨアヒムに助言を求めることで関係を改善しようとしたのです。ヴァイオリン協奏曲ニ長調と同様、ヨアヒムがこの二重協奏曲も初演のソリストをつとめ、二人は和解したようです。

この曲の魅力は、まず二つの独奏楽器・二人のソリストの共演でしょう。技巧的にも抒情的にも非常に高度なものが要求され、二つの楽器は時に寄り添い、時に反発対立しながらも、会話するように進んでいきま

す。また生涯最後の管弦楽曲として、交響曲第4番までを書きおえたブラームスのより深みを増した重厚さと繊細な美しさに満ちています。

## ■第一楽章 アレグロ イ短調

冒頭から印象的なフレーズや独奏楽器のソロ、他の曲にはない構成になっており、この曲の世界に引き込まれていきます。

管弦楽による第一主題の断片で曲が始まり、三連符の上行で力強く高まったところで、すぐに独奏チェロだけになり、冒頭からレチタティーボのような渋いチェロのカデンツァが奏されます。続く管楽器での柔らかな5小節が第二主題を暗示しており、その中から続いては独奏ヴァイオリンが現れます。そこに再び独奏チェロが重なって二人のカデンツァとなり、ようやく管弦楽の壮大な総奏へと導きます。転調を繰り返したのち、スケルツォ風の奇妙なリズムなどを経て、第二主題がチェロからヴァイオリンへと一体になって進みます。最初は優美に歌いながらも次第に熱を帯び、その激しさはオーケストラに移っていきます。展開部では、独奏楽器が自由奔放に技巧を駆使して活躍し、再度短調に戻り堂々と終わります。

## ■第二楽章 アンダンテ ニ長調

寂しさのこもった室内楽的な美しさが漂う楽章です。ホルンが伸びやかに呼びかけるように第一部が始まり、これを管楽器が弱音で受けたところに、独奏ヴァイオリンとチェロがオクターブのユニゾンで主題を演奏します。第二部は管楽器ののどかな雰囲気の中で独奏楽器が愛らしい旋律を奏で、そして第一部が再示されると静かに結ばれます。

## ■第三楽章 ヴィヴァーチェ・ノン・トロppo イ短調

暗いけれども軽くてかわいらしい動きのある主題が独奏チェロ、独奏ヴァイオリンの順で演奏されたのち、管弦楽も同じ主題を勇ましく繰り返します。その後、三楽章はめまぐるしく様々な表情をみせます。独奏楽器の短いカデンツァ、ブラームスが得意とした民族風の副主題、フラジオレットの技巧的な部分を経て主題が再現されます。すると突如、行進曲風となり、それがオーケストラで演奏された後、木管によるのどかな部分へ。コーダでは独奏楽器が音を合わせて進み、力強く全曲が終わります。

（深澤 文）

## 今回の演奏会において後援・協力をいただきました法人・団体・個人の皆様

(敬称略)

ふじの花交響楽団 11月20日 第3回定期演奏会を開催(ドボルジャーク交響曲第8番 他)  
バッハに親しむ会 8月27日 油山のバッハハウスにて静岡バッハ音楽祭を開催  
菊川フラウエンコール 南陵フィルハーモニー  
有限会社ウイリアムズ弦楽器 音楽舎 株式会社シャコンヌ  
ワインとフレンチの店 鷹匠キャラバン イタリア料理 リストランテ・ロメオ  
東亜通信システム株式会社 株式会社日本平清水屋 タリーズコーヒージャパン株式会社  
株式会社伊藤園静岡支店 株式会社アイワ不動産  
セルフレジはテラオカ!! 業界シェアNo.1!! 株式会社テラオカ 静岡営業所  
佐藤和子 大村忠宏 眞田宏幸 宮 秀雄 才茂 操

### コレギウム・ムジクム静岡メンバー

ヴァイオリン	江成 博行	大内 裕子	才茂 泰司	望月 勉	深澤 文
	江成 淳美	菅野 美穂	才茂奈生子	大内 潤	鈴木 洋美
	川口 舞	平本小都実			
ヴィオラ	飯田 晃司	杉山有紀子	大村みち子	今田 幹子	
チェロ	鈴木 誠一	常盤 洋平	寺澤 真紀	細谷 裕和	
コントラバス	藤井 弘之	坂口 卓也			
フルート	西貝 詳子	石野 智子			
オーボエ	大橋 且明	小田 紀子			
クラリネット	鈴木 教代	望月 好美			
ファゴット	伏見 寛之	森本 純一			
トランペット	杉山 雅行	深見 康英			
ホルン	山梨 晴臣	大場妃佳莉	萱沼 咲	山本 輝人	
ティンパニー	鈴木 一也				

### コレギウム・ムジクム静岡 今後の演奏会予定

#### ◆静岡バッハ音楽祭

静岡バッハハウス 2016年8月27日(土曜日) 午後  
ブランデンブルク協奏曲、管弦楽組曲第2番ほか

#### ◆静岡県立総合病院院内コンサート

玄関ロビーにて 2016年9月16日(金曜日) 19:00開演  
動物の謝肉祭、管弦楽組曲第2番

#### ◆菊川フラウエンコールコンサート

菊川アエルホール 2016年12月3日(土曜日)  
動物の謝肉祭、くるみ割り人形より、大地讃頌、ハレルヤコーラス、エリア29番、千の風になって



## 世界が認めた シャコンヌ製 新作ヴァイオリン

♪大ホールが一番後ろまで豊かに届く音  
 ♪ストラディヴァリ、ガルネリと互角かそれ以上の音量  
 ♪反応が良くて弾きやすいので練習が楽しくなった など  
 シャコンヌ製楽器をご使用の皆様から、多くの喜びの声をいただいております。

**CHACONNE**  
 DEALERS OF FINE VIOLINS

弦楽器直輸入・修理調整・楽譜・鑑定・楽器保険  
**株式会社シャコンヌ**

【シャコンヌ名古屋店】  
 名古屋市中区栄 2-11-19 熊田白川ビル3F  
 TEL: 052-202-1776  
 フリーダイヤル: 0120-485-245

【シャコンヌ東京吉祥寺店】  
 武蔵野市吉祥寺本町 1-31-11 KSビル904  
 TEL: 0422-23-1879

<http://www.chaconne.info>

◆営業時間: 10:00 ~ 18:30 定休日: 月曜  
 ◆毛替は予約不要です。いつでもお持ちください。

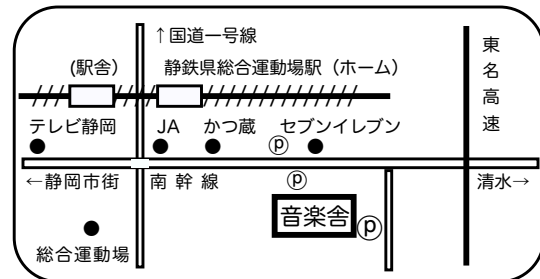
世界の楽器や楽譜をあなたに！音楽のすべてにお応えします

*We Sell All About Music*

**音楽舎**

**The Ongakusha Music Co.Ltd.**

〒422-8004 静岡市 駿河区 国吉田 4-8-6  
 TEL. 054-265-2930 FAX. 054-265-2932  
 URL <http://ongakusha.net/>  
 E-MAIL [info@ongakusha.net](mailto:info@ongakusha.net)  
 営業時間 AM10:30~PM7:00 日曜・祝日も営業



静鉄総合運動場駅より徒歩3分、P18台、パステルグリーンの建物です

# Taste the Difference

最高の一杯を、お客さまに味わっていただくために。

**TULLY'S**  
 = COFFEE =



タリーズコーヒー静岡紺屋町店・静岡県立総合病院店  
 エスパルスドリームプラザ店

本日配布させていただきましたインヴィテーションチケットは、上記店舗でご利用いただけます。

歌うように暮らしたい...



テレビCM放送中!

イメージキャラクター  
長尾春花

あなたの地図の、まんなかにも

人は心のなかに、じぶんの地図をもっています。  
そこは住みなれた街がひろがり、  
かけがえない家族がいて  
今日までの人生が記されています。  
その地図に、  
マンションライフという夢を描いていただくこと。  
時代が変わっても色褪せない、  
価値ある生活空間をお届けすること。  
これが私たちの願いです。  
あなたの地図のまんなかをめざして。  
私たちはこれからも、こ静岡県を舞台に、  
住まいづくり、街づくりに取り組んでまいります。

メゾン・ヴァンベルは、  
アイワ不動産の分譲マンションシリーズです。

